

令和7年度

第3回 県居小学校運営協議会



〈学校教育目標〉

共に生き生きと学び続ける子



令和7年9月25日 10:20~11:30

浜松市立県居小学校

第3回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	いながき みよこ 稲垣 美世子
副会長	はやかわ だいすけ 早川 大介
委員	ほんだ まさあき 本多 正明（学校支援コーディネーター）
委員	なかむら えみこ 中村 恵美子
委員	かわむら けいこ 河村 恵子
委員	なかみち ゆみ 仲道 有美（学校支援コーディネーター）

オブザーバー

県居協働センター	桐澤 祐貴（きりさわ ゆうき）
----------	-----------------

学校支援コーディネーター

中根 理恵（なかね りえ）

学校

校長	鈴木 彰一（すずき しょういち）
教頭	北村 のぞみ（きたむら のぞみ）
教務	中西 啓介（なかにし けいすけ）
C S 担当教職員	中西 啓介（なかにし けいすけ）
C S ディレクター	石崎 慶子（いしざき けいこ）

第3回 浜松市立県居小学校運営協議会

令和7年9月25日(木)

10:20~11:30

会議室

開会

＜司会：会長 記録：石崎＞

- 1 開催要件（委員の過半数の出席）確認
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議

（1） 後期学校改善具体策について （中西）

（2） 学校運営協議会 今年度の目標について

・オブザーバーさんから

- 7 報告
・県居小サポーターの活動報告 （学校支援CD）

- 8 連絡
（1）次回 令和8年2月12日（火）10:20~11:30
会場：県居小学校 会議室

- （2）次回の熟議の内容の確認
 - ・学校関係者評価について
 - ・来年度の学校運営の基本方針について
 - ・学校運営協議会の自己評価について
 - ・県居サポーターの活動報告について
 - ・夢育やらまいかCS加算分の報告について

閉会

令和7年度 第2回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年7月31日(木) 13時30分から14時40分まで
- 2 開催場所 県居小学校 音楽室
- 3 出席委員 本多 正明、早川 大介、中村 恵美子、稲垣 美世子、河村 恵子
- 4 欠席委員 仲道 有美
- 5 オブザーバー 県居協働センター 桐澤 祐貴
- 6 学校支援コーディネーター 中根 理恵
- 7 学 校 北村のぞみ(教頭)、中西啓介(教務主任)、石崎慶子(CS ディレクター)、他教職員 16 名
- 8 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 石崎慶子

11 議長の選出

会長から本多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく了承した。

12 協議事項

- (1) 中間評価の結果について
- (2) グループ熟議
- (3) グループごとの発表を受けての全体熟議

13 会議記録

司会の稲垣会長から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 中間評価の結果について

議長の指示により、中西教務主任から、別紙資料に基づき令和7年度グランドデザインの重点目標確認と、学校評価(中間)の結果報告があった。

(2) グループ熟議

委員と学校教職員がグループになり、学校評価(中間)の結果に基づき、教職員が予め分析した成果や課題、及び改善策について、熟議を行った。

【学びグループ:本多委員、中根コーディネーター、教員5名】

重点項目「相手を意識した伝え方・聞き方」

■ 分析

・教師が求める理想像と、子どもたちの考えるものがずれているのではないか。

■ 対策案

・初心に戻って、ひとつひとつ丁寧に教えていく。できて当然ではなく、対話の必要性を伝えていく。
・文ではなく単語で言ってしまうようなコミュニケーション力が減っている姿が見られる。言葉を正す、付け加えるということも担任として必要。

- ・授業だけではなく、生活においても相手を意識して対話をする時間を設ける

重点項目「ICT 活用の推進」

■ 分析

- ・保護者の評価が低いのは、ICT 活用が保護者に伝わっていないのではないか。保護者が ICT 活用を実感する機会は、タブレットを用いて家庭で宿題をする場合のみだと思われる。

■ 対策案

- ・参観会でタブレットを用いた授業を公開するなど、保護者に実感の機会を持ってもらう。
- ・どのように活用していくのか、を考えていくことも大切にしたい。

【笑顔グループ:早川委員、河村委員、教員6名】

重点項目「進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成」

■ 分析

- ・児童と教員の評価にギャップがあるのは、「自分から」の認識に差があるのではないか。
- ・コロナを経て、挨拶が難しくなった。また、知らない人へのあいさつも、今の時代は難しい。

■ 対策案

- ・「よい挨拶」を具体的に児童に示してみるのがよいのでは。
- ・図書委員が図書室に来た児童にあいさつをするなど、委員会活動を通じてあいさつを広めていくのもよい。
- ・よい挨拶ができている子をほめてあげることにより、できている子にもフォーカスをあてていく。

重点項目「認め合う安心できる学級づくり」

■ 分析

- ・学校の中であいさつが増えていくことにより、認められているという意識が高まっていくのではない

■ 対策案

- ・係や委員会などで活躍する役割を与えることで、認められていると感ずることができるのではない
- ・校内でのあいさつを増やしていきたい。

【元気グループ:稲垣委員、中村委員、教員5名】

重点項目「保護者と連携した食育の推進」

■ 分析

- ・家庭の事情もそれぞれであり、家庭と連携していくのは難しい。

■ 対策案

- ・命の大切さ、栄養素については伝えていくことで伝わることもあるのではないか。
- ・給食献立が確実に保護者に渡らない場合もある。さくら連絡網で送ってはどうか。
- ・給食委員会で、好きな給食や苦手な給食のアンケートを取り、給食だよりを発行していくこともよいのではないか。
- ・残食の考え方が学級によって異なっており、自分で食べきる量を調整し、食べきる、ということを学校で統一していてもよいのではないか。

重点項目「情報モラル教育の推進」

■ 分析

- ・「正しい使い方」について、児童は学校での様子を回答し、保護者は家庭での様子を回答し、ギ

ヤップが生まれているのではないか。

■ 対策案

・家庭での使い方など、情報に関する「ルールを作る」ところに重きをおいて、家庭に対して伝えていくのがよいのではないか。

(3) グループごとの発表を受けての全体熟議

学校評価(中間)アンケートと、クラス担任とのグループ熟議について、委員の方々から次の発言があった。

- ・相手に聞こえるあいさつをする、という意識をこどもたちが持つとよい。(中村委員)
- ・旗振りは、必ず保護者が行うため、児童にとっては安心できる存在であるが、保護者のほうが、あいさつをあまりできていない様子を見かけたことがある。旗振りの保護者に対して、保護者から積極的にあいさつをする、ということを発信していくとよい。(稲垣委員)
- ・献立表など、どんなものでも家庭での話題となり得る。あいさつについても、あいさつの仕方、声の大きさ、目を見てのあいさつなど、家庭での話題にし、できることからやっていけるとよい。(河村委員)
- ・最初からうまくやるのは難しい。どの程度で相手が傷つくのか、などは経験を重ねないとわからない部分でもある。伝え方・聞き方も、手助けを加えていくことで伸びていくのではないか。言葉選びを重ねていくことで成長していく。(早川委員)
- ・もう少しグループ熟議の時間を長く取れば、もっと有効な話し合いができたのでは。(本多委員)
- ・昨年度と比べて、職員評価の数値が変化している箇所が多い。今年は新しく本校に赴任した職員も多く、変化が大きい項目は、本校の強みや弱みを表していると考えられる。この数値を参考にしていきたい。(本多委員)
- ・今回の熟議を受け、第3回運営協議会では、改善策を具体化していく。(本多委員)
- ・すべてコミュニケーションにつながっていることを実感した。今の時代、警戒心を強くしたり、親子のコミュニケーションの取り方も変わってきている。協働センターに来るこどもたちに話しかける、保護者と話す姿を見せるなど、できることをしていきたい。(桐澤)

その他報告事項等

学校支援コーディネーターの本多委員から、1学期の県居小サポーター活動報告があった。

1学期は18回の活動があり、135名が参加した。

図書ボランティアは、環境ボランティアとして掲示の貼り替えを5回、また、賀茂真淵記念館への和歌掲示及び回収を行った。読み聞かせボランティアとして火曜日に7回実施。毎回7名ほどの参加があった。

教頭から、次回会議は、令和7年9月25日(木)10時20分から県居小学校会議室で開催する旨の連絡があった。

令和7年度 教育課程 取り組みの成果と課題

項目	課題	取り組み	成果	課題
相手を意識した伝え方・聞き方	・教師と児童の間にギャップがある。	・各学年の「話し方・聞き方」の目標をもう一度確認する。 ・教師が求める姿を児童に伝える。		
ICT教育の推進	・取り組みの内容が保護者に伝わっていない。	・参観会でICTを活用した授業を見せる。 ・情報モラル指導の内容をブログで発信する。		
進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成	・子供と教師の認識にずれがある。	・気持ちのよいあいさつの具体的な姿を紹介する。 「相手に聞こえる声で」「自分から」 ・各委員会であいさつに関する取り組みを企画する。		
認め合い、安心できる学級作り	・係や委員会に役に立っていると感ずる場面が少ない。	・一人一人が活躍できる場を設ける。 ・月のめあてに取り入れる。 「よいことをすすんでいます」 ・係の活動を評価し、称揚する。		
保護者と連携した食育の推進	・食べる量や栄養バランスを考えて食事ができていない。	・学校での指導内容をブログなどで発信し、家庭での話題にしよう。 (給食週間イベント・行事食など)		
情報モラル指導の推進	・保護者に指導していることや内容が伝わっていない。	・指導の内容をブログに載せて家庭に知らせる。		

全国学力調査(6年) 県居小学校の結果

本校の全国学力・学習状況調査結果についてお知らせします。今後の学習の参考にしていただけたらと思います。

教科に関する小学校結果数値(平均正答率)

【小学校】	国語	算数	理科
全国	66.8%	58.0%	57.1%
静岡県	66%	57%	55%

本校の国語と算数の結果を比べると、全国の結果と同じく国語の方がよい表れとなりました。国語は全国平均と同程度、算数と理科は全国平均を大きく上回る結果となりました。結果から考えられる本校児童の課題を紹介します。

国語 小学校①三(1)

【インタビュー】で聞き手が発言した目的として適切なものを選択する問題

誤答例の分析と課題

- ★「相手が伝えたいことの中心を明確にするため」を選択。
- ☆話の内容だけを見ると相手が伝えたいことを明確にしているように見えるが、「インタビューであること」「全体の流れ」を考慮することができていない。

学習のすすめ

話し合いの目的が何かを事前に確認しましょう。また、誰が主体となって話し合いが進んでいるのかを考えながら読み取りましょう。

理科 小学校④(3)

海にある氷がとけることについて、氷が水に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ問題

ひろみさんがいくつか実験を行った。オホーツク海の氷の面積が減った理由と関連している内容は？

- 1 海水は温まると体積が増える
- 2 海の氷は平均気温が高くなるとできにくくなる
- 3 水は高い場所から低い場所へと流れる
- 4 水は氷になるとき体積が増える。

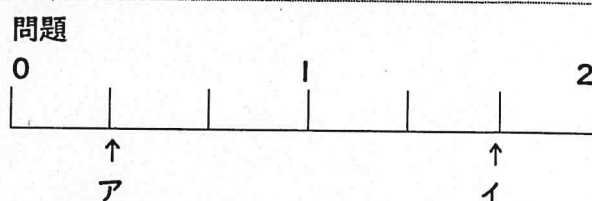
誤答例の分析と課題

★4

- ☆面積は体積と関係があると考えた。4の内容はひろみさんが事前に行った実験と関係がない。問題の趣旨を把握できていない。

算数 小学校③(3)

数直線上に示された数を分数で表す問題。



誤答例の分析と課題

- ★ア: $1/3$ 、 $1/6$ 以外の分子が1の分数
- イ: $5/3$ 、1と $2/3$ 以外の分数。
- ☆分数の基本的な考え方が理解できていない。

学習のすすめ

身の回りにあるものを分数で表してみましょう。1より大きい分数を帯分数と仮分数の両方で表す練習をしましょう。

質問紙

全国平均より数値が高かった主な項目:

- ・自分には良いところがあると思いますか。
- ・先生は自分の良いところを認めてくれていると思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・あなたはインターネットを使って情報を収集することができると思いますか。

全国平均より数値が低かった主な項目:

- ・友達関係に満足していますか。
- ・将来の夢や目標をもっていますか。

2- (4) 県居に学んだことを誇りに思う活動

県居に学んだことを誇りに思う活動～郷土の偉人である賀茂真淵翁の教えを基に～			
	① 和歌の朗誦	② 和歌づくり	③ 真淵の教え
ねらい	賀茂真淵の和歌を朗誦することを通して、言葉の意味や響きを意識し、声の出し方や速さに気を付けて詠い、音の響きを感じ合えるようにする。	賀茂真淵の和歌にちなみ、季節の変化や感動体験などを題材として、五七五七七のリズムにのせ、自分の言葉で表現することの楽しさを味わえるようにする。	賀茂真淵について学び、自身のキャリア育成に生かす。
活動内容	・ 朝活動における朗唱 8時、放送室にてリード ・ 朝会での全校朗唱 ・ 始業式、終業式、修了式での全校朗唱 ・ 校長室朗誦 ・ 音楽会での全校朗誦 ・ 浜松市音楽科研究発表会にて、朗誦の発表 ・ 真淵祭にて朗誦の発表	・ きらめきノート ・ きらめきタイム ・ きらめき集会 ・ 日記や感想に和歌で記入 ・ 始業式(頑張りたいこと) 終業式や修了式(頑張ったこと)を和歌で表現 ・ 校内掲示 ・ 地域掲示 ・ 和歌コンクールへの応募	・ 特別の教科「道徳」の学習にて、県居読本や漫画『賀茂真淵先生』の活用 ・ 総合的な学習の時間や特別活動の中での取り組み ・ 賀茂真淵記念館の見学
年間活動計画	4月 大御田の…	和歌コーナーの設置	
	5月 大御田の…	きらめき 和歌づくり	フタバアオイを育てよう 5年 記念館見学 3年 県居大好き(総合)
	6月 不二のねの…	きらめき 和歌づくり 和歌地域展示	
	7月 不二のねの…		
	8月	契沖顕彰、しきなみなど 短歌コンクールへの応募	
	9月 県居の…	きらめき 和歌づくり	記念館見学 4年 残したいもの伝えたいもの(社会)
	10月 県居の…	きらめき 和歌づくり 和歌地域展示	記念館見学 1年 まぶちせんせいについてしろう(生活)
	11月 飛騨たくみ…	きらめき 和歌づくり	記念館見学 5年 「ようこそ菅島へ(郷土愛)」(道徳)
	12月 ふみわけて…	きらめき 和歌づくり	記念館見学 すみれ・たんぽぽ学級 「郷土愛」(道徳) 記念館見学 6年 生き方を学ぼう(総合)
	1月 ふみわけて…	きらめき 和歌づくり 和歌地域展示	記念館見学 2年 もっとなかよし町たんけん(生活)
	2月 うらうらと…	きらめき きらめき集会	
	3月 うらうらと…		